

石油製品の品質を確保するための 手法の在り方

- 多数の試買にもかかわらず、試買で発覚する不適合事案がわずかなのはなぜか。試買の頻度や対象業者は適切か。
- 揮発油、軽油及び灯油によって不適合事案の発生割合が異なるにもかかわらず、一律同じ回数で試買を行っているのは非効率ではないか。
- 規制の強化や事業者の自主的努力をさらに高める余地はないか。